

## 薬学部科目担当者一覧

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								部門	名前
第2学年	基礎	講義	薬学英語の基礎 1	前期	1	必修		富士吉田教育部	須田 拓基
	専門	講義	物質の状態と変化	前期前半	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	有機化合物の反応	前期前半	1	必修	○	医薬化学	金光 卓也
	専門	講義	生命活動を担う分子(物質輸送とエネルギー産生)	前期前半	1	必修	○	生物化学	板部 洋之
	専門	講義	人体の成り立ちと機能 (神経・感覚器・皮膚・泌尿器・消化器)	前期前半	1	必修	○	毒物学	沼澤 聡
	専門	講義	化学平衡	前期後半	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	人体の成り立ちと機能 (循環器・血液・内分泌・生殖器・遺伝)	前期後半	1	必修	○	臨床病態学	谷岡 利裕
	専門	講義	薬の宝庫としての天然物	前期後半	1	必修	○	天然医薬治療学	川添 和義
	専門	講義	生命活動を担う分子(代謝とその調節)	前期後半	1	必修	○	生物化学	小浜 孝士
	専門	講義	薬の作用と生体内運命	前期後半	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	個人・集団・社会と健康	前期後半	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	微生物と感染症	前期後半	1	必修	○	感染制御薬学	石野 敬子
	基礎	講義	薬学英語の基礎 2	後期	1	必修		富士吉田教育部	須田 拓基
	専門	講義	物質の構造	後期	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	医薬品の検出と定量	後期	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	官能基の化学	後期	1	必修	○	医薬化学	永田 和弘
	専門	講義	生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達)	後期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	柴沼 質子
	専門	講義	生体防御反応を担う組織、細胞、分子	後期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	森 一憲
	専門	講義	生活環境と健康	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範 I	後期	1	必修	○	社会薬学	赤川 圭子
	専門	講義	薬と疾病(悪性腫瘍)	後期	1	必修	○	がんゲノム医療薬学	藤田 健一
	専門	講義	薬と疾病(感染症)	後期	1	必修	○	感染制御薬学	前田 真之
	専門	講義	薬の効き方	後期	1.5	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	演習	在宅チーム医療と倫理 T B L II (学部連携)	前期前半	0.5	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	演習	コミュニケーション	前期後半	0.5	必修		教育企画・評価学	小林 靖奈
	専門	演習	生と死	後期	1	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	演習	生理から病態へ 演習	後期	1	必修		臨床病態学	谷岡 利裕
	専門	演習	薬学基礎から薬物治療へ 演習	後期	1	必修		薬理学	柴田 佳太
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロップメント ※1	通期	-	必修		教育企画・評価学	小林 靖奈
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修		毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法	前期前半	1.5	必修		生物物理化学	合田 浩明
								生体分析化学	加藤 大
								薬剤学	原田 努
専門	実習	医薬品の化学 実習	前期後半	1.5	必修		医薬化学	福原 潔	
専門	実習	人体の成り立ちと機能 実習	前期後半	0.5	必修		臨床病態学	谷岡 利裕	
専門	実習	診療の流れを知る 実習	前期後半	1	必修		臨床栄養代謝学	千葉 正博	
専門	実習	生命体の成り立ち 実習	後期	2	必修		生物化学	板部 洋之	
							感染制御薬学	石野 敬子	
							腫瘍細胞生物学	柴沼 質子	
合計				履修科目数35科目(うち2科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数34単位					

○ 対象科目(前期11科目、後期10科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロップメントについては、2年次から履修し第6学年において単位を算定する。

※2 キャリアデザインについては、2年次から履修し第5学年において単位を算定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 18科目

後期必修科目数 15科目

前期必要要件単位数 17.5単位

後期必要要件単位数 16.5単位

最低履修科目数 33科目 必要要件単位数 34単位

## 薬学部科目担当者一覧

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								部門	名前
第3学年	専門	講義	薬学英語1	前期	1	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	前期	1	必修	○	教育実践学	亀井 大輔
	専門	講義	溶液の性質	前期	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	生体分子の化学	前期	1	必修	○	医薬化学	福原 潔
	専門	講義	薬物の体内動態	前期	1	必修	○	薬物動態学	佐藤 均
	専門	講義	生体防御反応の応用と免疫疾患	前期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	柴沼 質子
	専門	講義	薬と疾病(神経・精神系疾患)	前期	1.5	必修	○	教育実践学	田中 佐知子
	専門	講義	薬と疾病(呼吸器系疾患)	前期	1	必修	○	臨床研究開発学	肥田 典子
	専門	講義	薬と疾病(消化器系疾患)	前期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	臨床で用いる分析技術	前期	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	処方箋と調剤	前期	1	必修	○	天然医薬治療学	栗原 竜也
	専門	講義	製剤の性質	前期	1	必修	○	薬剤学	原田 努
	専門	講義	医薬品情報と患者情報	前期	1	必修	○	感染制御薬学	前田 真之
	専門	講義	薬学英語2	後期	1	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	講義	製剤設計	後期	1	必修	○	薬剤学	原田 努
	専門	講義	機器分析	後期	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	医薬品の化学	後期	1	必修	○	医薬化学	福原 潔
	専門	講義	生命活動を担う分子(ゲノム情報とバイオ医薬品)	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	医薬品・化学物質の代謝反応	後期	1	必修	○	毒物学	芦野 隆
	専門	講義	薬物動態の解析	後期	1	必修	○	薬物動態学	佐藤 均
	専門	講義	栄養と健康	後期	1	必修	○	衛生薬学	桑田 浩
	専門	講義	薬と疾病(循環器系疾患)	後期	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	薬と疾病(代謝系・内分泌系疾患)	後期	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	薬と疾病(泌尿器系・生殖器系疾患)	後期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	社会保障制度と医療経済	後期	1	必修	○	社会薬学	岸本 桂子
	専門	演習	薬剤師の使命	前期	1	必修		教育実践学	加藤 里奈
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル1(神経疾患)	前期	1.5	必修		毒物学	芦野 隆
	専門	演習	薬剤師に求められる倫理観	後期	1	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	演習	研究倫理と統計	後期	2	必修		毒物学	沼澤 聡
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)	後期	0.5	必修		臨床病理学	谷岡 利裕
	専門	演習	学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	後期	2	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	演習	薬学基礎と臨床の複合演習	後期	0.5	必修		薬剤学	原田 努
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロップメント ※1	通期	-	必修		教育企画・評価学	小林 靖奈
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修		毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	健康と環境 実習	前期	1	必修		衛生薬学	原 俊太郎
	専門	実習	調剤・患者対応入門 実習	前期	1	必修		薬物治療学	大林 真幸
専門	実習	薬の効くプロセス 実習	前期	1	必修		薬理学	野部 浩司	
専門	実習	急性期医療と薬剤師 実習	後期	1	必修		教育実践学	亀井 大輔	
専門	実習	製剤化と製剤試験法 実習 ※3	後期	0.5	必修		薬剤学	原田 努	
合計				履修科目数 38科目(うち2科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数 38単位 ※3 製剤化と製剤試験法履修者は履修科目数39科目 38.5単位					

○ 対象科目(前期12科目、後期11科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロップメントについては、2年次から履修し第6学年において単位を算定する。

※2 キャリアデザインについては、2年次から履修し第5学年において単位を算定する。

※3 製剤化と製剤試験法実習は、令和3年度単位未修得者を対象として開講する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 18科目

後期必修科目数 18科目

前期必要要件単位数 19単位

後期必要要件単位数 19単位

最低履修科目数 36科目 必要要件単位数 38単位

## 薬学部科目担当者一覧

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								部門	名前
第4学年	専門	講義	薬となる化合物の構造と性質	前期	1	必修	○	医薬化学	福原 潔
	専門	講義	分子・細胞から生理・病態へ	前期	1	必修	○	生物化学	板部 洋之
	専門	講義	漢方医学の实践	前期	1	必修	○	天然医薬治療学	川添 和義
	専門	講義	日常生活と健康	前期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	薬物送達システム	前期	1	必修	○	薬剤学	中村 明弘
	専門	講義	薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節)	前期	1	必修	○	薬理学	柴田 佳太
	専門	講義	薬と疾病(血液・小児・皮膚)	前期	1	必修	○	臨床病態学	谷岡 利裕
	専門	講義	個別化医療	前期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	地域医療とプライマリーケア	前期	1	必修	○	社会薬学	岸本 桂子
	専門	講義	薬毒物と中毒	前期	1	必修	○	毒物学	沼澤 聡
	専門	講義	放射性医薬品の利用と管理	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	演習	学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ	前期	1.5	必修		教育企画・評価学	小林 靖奈
	専門	演習	EBM演習	前期	1	必修		天然医薬治療学	栗原 竜也
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)	前期	0.5	必修		がんゲノム医療薬学	藤田 健一
	専門	演習	輸液と栄養	前期	0.5	必修		臨床栄養代謝学	千葉 正博
	専門	演習	実務と基礎の複合演習	後期	1	必修	○	教育実践学	田中 佐知子
	専門	演習	キャリアデザイン ※1	通期	-	必修		毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	薬学研究入門	前期	6	必修		講座主任	
	専門	実習	実務実習事前学修	後期	4	必修		教育実践学	亀井 大輔
	専門	実習・演習	ファーマシューティカルケアプログラム※2	後期	-	必修		がんゲノム医療薬学	藤田 健一
専門	実習	薬局実習※2	後期	-	必修		薬物治療学	向後 麻里	
合 計				履修科目数21科目(うち3科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数25.5単位					

○ 対象科目(前期10科目、後期2科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 キャリアデザインについては、2年次から履修し第5学年において単位を算定する。

※2 ファーマシューティカルケアプログラム、薬局実習については単位算定は第5学年において行う。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 15科目

後期必修科目数 3科目

前期必要要件単位数 19.5単位

後期必要要件単位数 6単位

最低履修科目数 18科目 必要要件単位数 25.5単位

## 薬学部科目担当者一覧

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	科目責任者		
							部門	名前	
第5学年	専門	演習	症候と疾患推測	前期	0.5	必修	教育実践学	亀井 大輔	
	専門	演習	医薬品の副作用・有害事象	後期	1	必修	病院薬剤学	田中 広紀	
	専門	演習	アドバンスト薬学英語 ※2	後期	-	必修	講座主任		
	専門	演習	応用薬学演習 ※2	後期	-	必修	社会薬学	岸本 桂子	
	専門	演習	症例演習と薬物療法の実践	通期	2	必修	薬物治療学	大林 真幸	
	専門	演習	医薬品評価と開発 ※1	通期	0.5	必修	臨床研究開発学	肥田 典子	
	専門	演習	キャリアデザイン ※3	通期	0.5	必修	毒物学	沼澤 聡	
	専門	演習	臨床心理学の活用	通期	1	必修	教育実践学	田中 佐知子	
	専門	実習	学部連携病棟実習	後期	1	必修	教育企画・評価学	小林 靖奈	
	専門	実習	学部連携地域医療実習 I・II ※2	後期	-	自由選択	社会薬学	岸本 桂子	
	専門	実習	薬学研究 ※2	後期	-	必修	講座主任		
	専門	実習	海外における薬剤師の役割を知る	後期	②	自由選択	生物化学	板部 洋之	
	専門	実習	病院実習1 ※1	通期	4	必修	病院薬剤学	田中 克巳	
	専門	実習	病院実習2(精神医療実習を含む) ※1	通期	12	必修	病院薬剤学	田中 克巳	
	専門	実習	薬局実習 ※1	通期	10	必修	薬物治療学	向後 麻里	
	合計				最低履修科目数13科目(うち3科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数 32.5単位				

※1 病院実習1、病院実習2(精神医療実習を含む)、薬局実習、医薬品評価と開発については、4年次から履修した時間数を第5学年において単位を算定する。

※2 応用薬学演習、薬学研究、アドバンスト薬学英語、学部連携地域医療実習については、5年次から履修した時間数を第6学年において単位を算定する。

※3 キャリアデザインについては、2年次から履修した時間数を第5学年において単位を算定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 1科目

後期必修科目数 2科目

通期必修科目数 7科目

前期必要要件単位数 0.5単位

後期必要要件単位数 2単位

通期必要要件単位数 30単位

最低履修科目数 10科目 必要要件単位数 32.5単位

## 薬学部科目担当者一覧

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	科目責任者	
							部門	名前
第6学年	専門	演習	アドバンスト薬学英語 ※1	前期	1	必修	講座主任	
	専門	演習	応用薬学演習 ※1	前期	9	必修	毒物学	沼澤 聡
	専門	演習	総合薬学演習※4	前期	-	-	毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	薬剤師の臨床判断	前期	②	自由選択	教育実践学	亀井 大輔
	専門	実習	学部連携地域医療実習 I	前期	②	自由選択	社会薬学	岸本 桂子
			学部連携地域医療実習 II		④			
	専門	演習	集中講義※3	後期	-	-	毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	薬学研究 I	通期	17	選択必修 ※2	講座主任	
薬学研究 II			16					
薬学研究 III			15					
合計				最低履修科目数 3科目 必要要件単位数25単位以上 ※2				

＜卒業までに修得する単位数：191.5単位以上を必要とする＞

※1 応用薬学演習、アドバンスト薬学英語については、5年次から履修した時間数を第6学年において単位を算定する。

※2 自由選択科目(薬剤師の臨床判断、学部連携地域医療実習 I・II)を選択しない学生については、「薬学研究 I」を履修する。「薬剤師の臨床判断」、5年次または6年次「学部連携地域医療実習 I」、あるいは5年次「海外における薬剤師の役割を知る」のいずれか1科目を履修した学生は「薬学研究 II」を履修する。5年次または6年次「学部連携地域医療実習 II」を選択した学生、あるいは「薬剤師の臨床判断」と5年次または6年次「学部連携地域医療実習 I」を選択した学生は「薬学研究 III」を履修する。

※3 集中講義は、単位認定対象外とする。

※4 総合薬学演習は、卒業に必要な単位修得済みの学生を対象として開講する。新たな単位は付与しない。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 2科目

通期必修科目数 1科目

前期必要要件単位数 10単位

通期必修単位数 15単位以上

最低履修科目数 3科目 必要要件単位数25単位以上